

令和8年度山口大学入試問題「出題の意図」

試験種別(学部入試:一般選抜 後期日程 理学部 化学科, 生物学科)
科目(理科(化学))

※注:この出題の意図についての質問・照会には一切回答しません。

[出題の意図]

【問題 1】

問 1

学習指導要領に記載の「蒸気圧」および「気液平衡」に関して問う問題であり、グラフから数値を読み取る判断力を測る。

問 2

学習指導要領に記載の「蒸気圧」および「気体の捕集法」に関して問う問題であり、水の蒸気圧、水上置換に関する知識と、知識を実際の事象に結びつける思考力、思考したことを適切に文章としてまとめる表現力を測る。

問 3

学習指導要領に記載の「理想気体」と「実在気体」との違いに関して問う問題であり、実在気体に関する知識と、与えられた事象から解答を導き出す思考力、思考したことを適切に文章としてまとめる表現力を測る。

【問題 2】

問 1

学習指導要領に記載の「アンモニアの酸化による硝酸の製法」および「硝酸の性質と化学反応」に関して、オストワルト法の反応過程と酸化還元反応の知識、ならびに化学量の計算技能を総合的に確認する問題である。化学反応式の作成と量的関係の把握を通じて、化学変化の本質を論理的に表現できる能力を測る。

問 2

学習指導要領に記載の「金属元素の性質およびその製法」に関して、アルミニウムの電子配置、金属結合、両性元素としての化学的性質の体系的な知識を確認する問題である。結晶構造や反応特性をもとに、物質の性質を原子・イオンの観点から表現できる能力を測る。

【問題3】

問1

学習指導要領に記載の「エステル」の合成に関して、化学反応式の導出ならびに使用する原料の化学量に関する問いから化学反応に対する知識や理解度、計算技能や判断力を測る。

問2

学習指導要領に記載の「芳香族化合物」および「アルコール」に関して、分子式と構造情報から構造異性体を導出する能力、不斉炭素原子や反応前後の構造変化などに対する知識と理解度、思考力と判断力を測る。